

## 子どもほっとライン もしもしにゃんこ 🐾

＜島根県内の18才までの子どもがかける子ども専用電話＞

子ども自身が自分の意見を言うこと・聴いてもらうことは『子どもの権利条約』に掲げられている大事な権利です。この権利を保障し、一本の電話でつながる心の居場所として、県内の18歳以下のこどものための子ども専用電話「子どもほっとライン もしもしにゃんこ 🐾」を2006年9月、松江市と浜田市に開設し、同年11月からフリーダイヤル化をしました。現在、松江市のみの開設となり、毎週日曜日午後2時～6時にボランティアが対応しています。

子どもは、ここは安心だ！信頼できる！自分の気持ちを聴いてくれる人がいる！と思ったとき、自分の居場所と感じ、心を少しずつ開いて話してくれるのではないのでしょうか。また、話すことは自分で切り開いていく力を出すことができ、「話す」ということをきっかけに自ら歩みだすことができるのではないかと思います。顔の見えない相手（電話）だからこそ話せることもあります。

私たち聴き手（子どもの電話を受ける人）がもっとも大事にしていることは、「安心感と信頼感」を掛けてきた子どもに持ってもらい話してもらうこと、そして「聴ききる」ことです。

一本の電話でつながる心の居場所として、一期一会の気持ちで一本一本の電話を大切にしていこう、それが「子どもほっとライン もしもしにゃんこ 🐾」です。

### ☆25年度の状況☆

平成25年4月から平成26年3月まで、アクセス数は1,167本（前年1,437本）、接続数は868本（前年1,025本）でした。そのうち、実際に「聴き手」が電話で話したものは192本（前年244本）、総通話時間は1,133分、時間数にすると、約18.8時間でした。「ためし：すぐ切れた」ものも含んでおり単純に一本当たりの電話の平均は6分と短いものとなりますが、現場でのようすをみると10～20分程度がもっとも多く、1時間以上になったものもありました。

アクセス数はこの7年間をみると20年度をのぞきほぼ横ばいでしたが、今年度わずかに減少しました。月別ではカードを一斉配布した5・6月はアクセスが多く、後は多少の前後はありますが同じ様にかかりました。

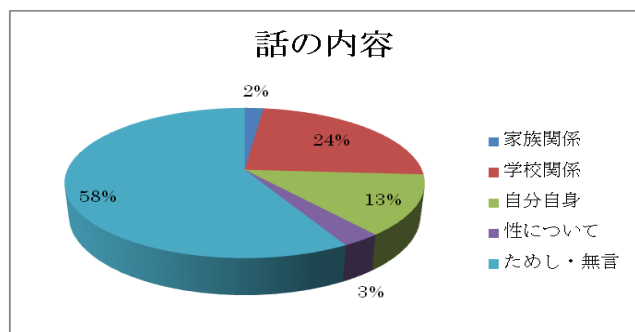
今年度県内の相談電話に携わる機関や団体との意見交換会がありました。その場において感じたことは皆さんの「電話」のある中、県内の子どもの「子どもの思いを聴く」電話は「子どもほっとライン もしもしにゃんこ 🐾」だけだ！ということでした。このことはとても大きなことだと感じました。短い電話でもとりとめもないことでも一本もおろそかにせず、「聴き切る」、もしもしにゃんこ 🐾 はそうありたいと思います。

平成25年度開設状況	開設日	5月2日
	電話番号	0120-225-440
	開設日	毎週日曜日 午後2時～6時
★アクセス数	1,167件	着信数 868件
★聴き手と会話をした数	192件	延べ時間 1,133時間
★聴き手・つなぎ手	延べ170人	

### ☆電話の内容とそこから見える子どもの姿☆

一回の電話で必ずしも一つの内容とは限りません。色々な内容が重複している場合がよくあります。大きく「家

族関係」「学校関係（友人とのこと・先生とのこと・部活のことなど）」「自分自身（進路・容姿など）」「性（恋愛・体についての悩み）」「その他（雑談・ためし）」と一番主題となったことをこの5つにわけてみました。



最も多い雑談やおしゃべり、一言、無言ですが、「もしもしにゃんこ」の電話番号に掛ける、そのことがまず勇気がいることだと思います。試しでコールしてみて、聴き手が出たことにどきまぎしてそれだけで切電したり、女性の聴き手だとばかり想像して掛けたら男性であわててしまったり（その反対も）。男子複数で次ぎ継ぎとたわいもない話を話した後で少し時間をおいて、「あの・・・」と本題を掛けて

くる・・・、一本一本の電話は文字通り一期一会です。

試しや複数でのからかいの電話も、そのあとの本気の一本につながるかもしれない・・・そう思うと私たちはおろそかにはできないのです。メールやラインが会話の主になってきて友人同士でも電話はしない・・・いつの間にかそんな時代になってきました。フリーダイヤルに掛けること自体、おっくうでためらいもあると思います。そんな中で繋がった「縁」、お互い知らないもの同士でも話しながら安心感と信頼感が、本当に話したいことが子どもの心から出てくるようにこれからも心がけたいと思っています。

「進路」については進学を選択において自分の思いと親の希望のはざまでの葛藤がいくつかありました。親の期待と現状の狭間で揺れる子ども、実際にやりたいことを出すと喜々として話はずみずみ。やりたいことは親にとっては将来の職業選択には役にたたないように見え、堅実な道を望もうとしたり、自分自身の希望をそのまま子どもの希望として見えない希望という圧力をかけている姿が子どもの後ろに見えます。

「学校関係」について、中でも友だち関係についての話がほとんどを占めています。教室内、部活、登下校・・・、場面は様々でもそこでの友だちとのかわりからの事柄です。そこでの些細な溝、違和感、心の葛藤が大きくなっていくようです。「学校」は、一日の大半を過ごす場所です。居心地よく過せるか否かは、子どもの生き方にもかわってくるようにさえ感じられます。部活についても年齢が上がると増えていくように思います。学校生活のなかで一番楽しみな時間が、重荷になり心がざわざわする時間になり戸惑う状況が見えます。

「友だちのことですが・・・」、とはじまるもののなかには自分のことを置き換えて話しているなど思えるものもあります。連休明け、夏休み明けなど長期のお休みのあと、突然友だちの態度が変わり仲間外れにされた、傷つく言葉をいわれた、原因は何度も何度も考えても分からない。自分でも何日も考えたり、直接聞いてみたりもしてもわからない、それでも、なんとか光をみいだそうと私たちに掛けてくる。電話を掛けてくる子どもはまだ誰かと繋がろうと努力する力があり、そこに私たちも細い道と一緒に見出していけるかもしれないと思います。もうなにもかも諦めたら、ここに掛けることもなく、閉じこもるしかなくなる・・・、一緒にあれこれ話ながら、エールを言葉にださなくても気持ちにこめながらも、日々のその子どものようすを思うと電話という限界と無力さも感じます。せめて子どもの心の痛みに寄り添う聴き手でありたいと思います。

子どもたちはまわりのおとなの普段のようす、関わるおとなの姿も心も本当によく見えています。子どもをひとりの人として接しているか、日常の私たちの子どもへのまなざしが、子どもひとりひとりが自分らしく生きる子どもの権利そのものに繋がることを私たちはこの内容からも教えられました。



NPO法人 ほっと・すぺーす 21 スタッフ一同

## 子どもの人権ワークショップ講座

「関わりの中に権利あり～権利の3つのフィルター、未来につなぐ命を育むこと、

そして 自分らしくシアワセに生きること～」

平成24年度6講座 平成25年度・26年度 10講座開催

講師 NPO法人あそび環境 Museum 北島尚志さん

「ほっと・すぺーす 21」は、平成17年「子どもほっとラインもしもしにゃんこ」を主事業に発足しました。そのときの土台となったものが「子どもの権利条約」です。子どもも健やかに育つ権利、そして意見（キモチ）を言ったり聴いたりしてもらふ権利、この条約はいつも私たちの柱となり、子どもたちに向き合う支えです。

「もしもしにゃんこ」を開設し、9年目。かかってきた電話は一万本以上にもなりました。友だちのこと、自分自身のこと、話ながら感じることは、ありのままの自分の心に気づいてほしい、自分らしく生きたい、そんな言葉にならないキモチです。また、親や家族の考え、キモチに一生懸命応えようとしている子どもの姿もみえます。親は子どもに楽な道をと子どもの人生にルールを引く、おとながよかれと思っていることが反対に子どもが自分らしく生きることを苦しくさせ、進路、生き方、人との関わりなど様々な問題となって子どもたちから発せられています。

生まれてから成長する過程で関わるたくさんのおとなの存在、私たちおとな世代の価値観が今問われているように感じています。また、一向に減らない虐待・いじめ・今、この時代だからこそ、「子どももおとなもシアワセに生きること」「子どもも社会のパートナー」ということを子どもにもおとなにも学びの場を提供したい・・・と考え子どもの人権講座を企画しました。

県内東部・隠岐で平成24年度は6会場、平成25・26年度は10会場で小学校、小学生とおとな、中学校生徒会等、子育て支援者などのおとなと、対象を絞り実施しました。（詳しくはほっと・すぺーす21HPをご覧ください）

感想やようすを抜粋でお知らせします。

小学生とおとなの講座での「人間写真」ワークショップ、今日初めてお互い出逢った低学年チームには難しいかな・・・と思いましたが、この胸をはっての演技に思わずおとなチームの大拍手が降り注ぎました。そのときの低学年たちの誇らしそうな顔、顔。「自分はここにいてよくて認められるキモチ」、「受け入れてもらうキモチ」、「みんなで一緒にやったうれしさ、楽しさ」etc・・・、子どもたちの心が躍るようす、凛としたキモチなどなど、そんな姿をみるだけで大切なものを教わったと感じました。



中学生の皆さんの姿にも教えられました。椅子取りのワーク。本当にあの椅子取りですが、なんと学びの大きいワークショップでした。バラバラに座った生徒+北さんの椅子。北さんが「オニ」になり、その空いた椅子に座ろうとします。生徒たちはその空いた椅子に誰かがすわり北さんが座るのを阻止します。北さんは次の空いたところを探し座ろうとし、生徒たちはどうにかしてそれを1分すわらせないようにしてはなりません。

よーい、はじめ！ 生徒のあーっという声とともに北さんはあっという間に座ります。わずか7秒、そして次は14秒、17秒。なかなか1分はできません。どこの中学校でも北さんを座らせまいとして、つい、椅子を引いてしまいました。「僕はとても怖かった。これでは安心してこれをやるという権利が遠のきます」という言葉が心に染みいります。



そしてここでシンキングタイム。北さんは部屋から出、生徒たちで方法を考えます。「3人くらいでわかるがわるおんなじとこをくるくるしたらよい」という意見に異論はせず、これをやってみます。30人近くいるのにたった3人しか動きません。見ている27人は傍観者然としているだけです。イスはすぐとられしかも北さんはまたもひっくり返ります。「僕はとても嫌な気持ちでした。しかも他のひとたちはただみているだけ 笑ってるだけで動こうとしなかった。これはいじめと姿と一緒にではないか・・・」という北さんの投げかけに生徒たちの心は揺れて大きく変化していきます。そして、再びのシンキングタイムの後の椅子取り

は圧巻でした。全員が他者の動きに気を配り、自分が動きます。そして1分を見事クリアしました。全員大拍手です。各校とも状況は多少違いますが子どもたちの何かが確実に変化した時間でした。子どもは学び生かされていく・・・まわりのおとなも感動で胸がいっぱいになりました。

真夏、雷も鳴る湿度 100%の部屋でのワークショップ、私たちスタッフは最後の「子どもの権利条約」を仲間ごとに分類する作業になるころにはヘトヘトでした。ところが生徒たちは大声で「すべての子どもは生きる権利があるだー、これって一番大事で別格じゃないか！」などと、真剣に意見をいいあっています。その姿に圧倒されました。「国はおれたちを守るんだ」「親の義務はこれでグループができるよ」、もっともこの時間をもって権利条約にふれさせたい、たくさんの中学生にこんな学びをさせたい、生徒たちの目をみながらこちらも熱くなりました。そして後日、この生徒会が中心となり、全校生徒に向けて「子どもの権利」をわかりやすく学ぶ講座も企画されました。

下記は児童・生徒のみなさんのアンケートから抜粋です。

#### ◎感想

・「けんり」について、人にものをいう「けんり」は私にはあるけどイヤなことをズカズカ言うのは「ひとを安心」させていないし「人をその気に」させていないし「納得」もできないので、しっかりそういうことを理解した上で「けんり」を使っていきたいなと思いました。そして最後の絵を説明で伝えるゲームは最初友だちが説明してくれたけど、とても分かりやすかったです。そして「ヘタ」とか「ちがうよ!」とか言わなかったので「けんり」をうまく使っているなあと思いました。(6年 女子)

・いくら僕たちが子どもだからって、発言+思想が制限されているわけではない。子どもだから守られていて、子どもだからおとなと同じように権利がある。でも、子どもだから自由があるわけではなく、しっかり筋が通って初めて自由・権利が認められると知ることができた。明日から変わっていきたい。(中学生)

・子どもの権利条約が子どものアンケートによって10年もかけて考えられたということに驚きました。そしてすごいなと思いました。「できない人はいない」という言葉に苦手なことはあるけど、諦めず、少しずつがんばらないといけないなとおもいました。そして今がんばっていることは、とにかく精一杯がんばります。あと、「やばい」「かわいい」とかよく使ってしまうからきちんと見直して、少しずつ言葉をかえていきます。とても考えさせたいいい会でした。親にも伝えたいです。そしてこれからは活かします。(中学生)

・とても楽しくコミュニケーションがとれました。「できない生徒はいない、ゆっくりできるか、早くできるか、やらないかだ」、この言葉はすごく心に残りました。私も学校の先生になりたいけど、自分の教え子を「できる子」「出来ない子」とわけず、のんびりつきあってあげたいと思います。自分のクラスメイトなども、できるま



で時間がかかるだけなんだと思うことを大切にしたいと思います。ミニゲームでは、みんなのことを考えてみんなであることが大切なんだと感じました。相手に相手の立場になって伝えることも大切なのだと感じました。

(中学生)

・自分勝手な行動でまわりを不愉快な気持ちにしてしまうことがわかったので、相手を安心させ、その気にさせて、納得させることが大切だとわかりました。これからの行動を皆が納得できる自分勝手でない行動に変えていきたいです。(中学生)

・私は今日のゲームなどの活動を通して、人と自分にとって良い方法とはなにか、考え続けることが大切なんだなと思いました。今受験する高校について母と協議中ですが、今やっている部活を続けることを反対されているので今日学んだことを活かしてみようと思います。(中学生)

おとな対象講座には、子育て真っただ中お母さんたちも参加しました。その感想です。

・5歳の男の子の母です。生命の大切さは十分理解しているつもりでした。でも「何か問題が起きているときになぜ子どもに問わないんだ！」は心に響きました。息子の生命、息子のいとこの生命、友人の子の生命を育む機会がこれからたくさんあります。北さんのお話を聞いて本当に良かったです。(40代)

・2歳、4歳の子そだてをしながら頑張っています。本当に毎日苦しいなと感じて、また首を絞めるマネをしたこともあります。子どもにいうことばは「はやくしてよ」「きたないからやめなさい」の連発で……。今日の話聞き、涙がでました。これからの子どもとの関わりが変われる気がします。(30代)

・普段子ども(4歳)とうまくいかず、いいときはいいのですが、死んでしまえばよいなんて思ったりすることもあります。叱り方もわからず、叩いたりけったりは日常茶飯事。(それでこの講座を受けてみることにしました。)しかし、子どもをもっと理解して大切にしていけないといけないなと思いました。(40代)

特定非営利活動法人

ほっと・すぺーす 21

## 子どもの人権ワークショップ講座



【講師】NPO法人 あそび環境Museum  
アフタフ・バーバン代表

北島尚志さん

小さくたって、子どももひとりの人間、シアワセに生きる権利があります。それはわがままに生きていくことではなく、自分らしく生きるということ、ワークショップや歌でちょっとそんなことを考える講座です。どちらも楽しく笑い、そしてなんだかちょっと泣けちゃう講座です。

### 子どものための電話

「子どもほっとライン もしもしにゃんこ」を支えてください!

県内の子どものための子どもの電話「もしもしにゃんこ」のカードは、一年間に15万枚を子どもたちに発送しています。カード代、発送費、養成講座、県から助成をいただいておりますが、スタッフは交通費も自前の完全なボランティア、運営はとても厳しい状況です。

珈琲一杯分のお金で300人くらいの子どものカードになります。また、商品券・図書カード、QUOカード、切手など机の隅で眠っていませんか。1枚でも運営にとっては大変助かります。

島根の子どもの未来は、島根を愛するあなたの手で支えてください! 子どもたちに、ちょこっとのシアワセをプレゼントしてください!



お問い合わせ・眠っていたお宝の送付は事務局までお願いいたします。

特定非営利活動法人 **ほっと・すぺーす21** (日本財団CANPAN登録しています)

〒690-0044 松江市浜乃木三丁目7番43号

携帯 090-8066-5183 (すとぅ) TEL・FAX (0852) 25-4450

メール [tamanosuke@purple.plala.or.jp](mailto:tamanosuke@purple.plala.or.jp) URL <http://www8.plala.or.jp/hotspace21/>

## 子どもは社会の大切なパートナー



特定非営利活動法人

# ほっと・すぺーす21

県内の子どもの心の居場所を提供すると共に、コミュニケーション力を高める事業を通して、安心感と信頼感のある地域づくりを進めることにより、子どもの豊かな成長に寄与することを目的として活動しています。平成24年度県民いきいき活動奨励賞を受賞しました。

私たちと一緒に活動しませんか!

**会員募集中!**

- 正会員会費 (年会費) 3,000円
- 応援会員費 一口 1,000円

# 心の居場所づくり

～18才までの子どものための専用電話～  
子どもほっとライン



## もしもしにゃんこ

子どもは、ここは安心だ！信頼できる！自分の気持ちを聴いてくれる人がいる！と思ったとき、心を少しずつ開いて話してくれるのではないかと思います。顔の見えない相手（電話）だからこそ話せることもあります。

一本の電話でつながる心の居場所として、一期一会の気持ちで一本一本の電話を大切にしながら向き合う、それが「子どもほっとライン もしもしにゃんこ」です。

2013年4月から2014年3月までのアクセス数は**1,167件**、総通話時間は1,133分になります。

子どもほっとライン 18才までの子どもでんわ

もしもしにゃんこ

0120-225-044

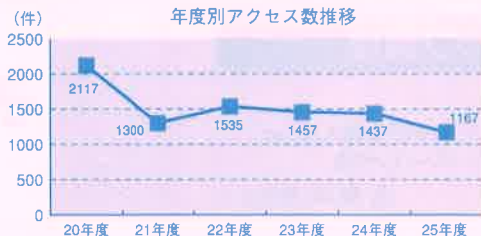
目ようび ここ2じ～ここ6じ

無料

※お電話の際は「もしもしにゃんこ」をお伝えください。

もしもしにゃんこのやくそく

- ☆キミがはなしたことはだれにもいわないよ。
- ☆なまえはいわなくていいし、きかないよ。
- ☆イヤだとおもったらきいてもいいよ。
- ☆なんでもいっしょにかんがえるよ。



### 聴き手養成講座

「子どもほっとライン」は、聴き手というボランティアが対応します。その養成講座も実施しています。



### 子ども～高齢者幅広く対応 コミュニケーション出前講座 &子育て支援講演会

公民館活動・幼稚園・保育所・学校・PTA行事・子ども会・婦人会・高齢者サークル・座禅会etc…どこでもほっと・すぱーす21スタッフ参加！笑顔200%の講座です！



### 子どももおとなも関わる楽しさを体感する講座



高齢者のみなさんの  
元気と知恵と笑顔を  
子どもたちへ！

「いずみそんそんわくわく座」



あそびの中には  
関わりがいっぱい！  
大人気の講座  
「忍音、参上！」

こんなに楽しくドキドキ  
したことはない！

どの講座も「あそび」をと  
おして、子どももおとなも、  
みんなが安心感と信頼感を体  
感する不思議な時間と空間！  
明日からの元気届けます！

※他のNPO法人、公民館やコミュニティセンター、社会福祉協議会、学校や行政etc…と協働で事業をすすめています。

## コミュニケーション向上

「子どもほっとライン  
もしもしにゃんこ」の  
電話の内容から、コミュニケー  
ション力の低下が見え、この力を高  
めることの必要性を痛感した私たちは  
「子どももおとなも関わる楽しさを体感す  
るワークショップ講座」と「出前講座」を始め  
ました。



子どもほっとライン

18才までの子どものでんわ

もしもしにゃんこ

モモ

無料



0120-225-044

にち

日ようび

ごご2じ~ごご6じ

後援 島根県・島根県教育委員会 (平成26年度)

©ほっと・すべーす21

もしもしにゃんこ🐾のやくそく

- ☆ キミがはなしたことはだれにもいわないよ。
- ☆ なまえはいわなくていいし、きかないよ。
- ☆ イヤだとおもったらきってもいいよ。
- ☆ なんでもいっしょにかんがえるよ。

● 去年1年間で、1,167本かかってきたよ!